

令和 6 年度

小規模多機能ホーム
ももの木かしわざき

事業所評価

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー

立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・
伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	11 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画

送迎時・入浴時・午前中の作業提供時・レクリエーション等、職員が関わりを意識して、得た情報を共有していく。
利用者様と職員との人間関係を改めて見直し、対応が違っていたら、サービスを統一する。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員が利用者様に関わって得た情報については、出来るだけケース記録に残して情報を共有している。
利用者様の対応については、本人様が不安にならないように、統一したサービスを心掛けているが、一部出来ない場面も見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	10	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	13	0	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	10	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	11	2	0	13

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

新規利用者様の対応については、事前に出ているケアマネの情報を把握して、利用開始日に活かしている。
また、積極的に声かけをして対応している。日々の様子に関しても、業務日誌やケース記録に記載して、職員間で情報の共有に努めている。また、家族の不安等についてもケアマネが親身になって相談にのって負担軽減になるように対応している。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

業務に追われて、利用者様との関わりが少なく、個別対応が出来ていない為、施設での様子を家族に伝えられていない。
得た情報を共有出来ていない為、対応が統一されない時があった。
日常的な支援において、本人様の望む支援を十分に果たせていない。

次回までの具体的な改善計画

（200 字以内）

日々の忙しい業務の中でも、個別での会話の時間を設けるようにする。その中で、本人様の望む支援を会話を通して探っていく。（入浴時・茶話会）等。
業務日誌・ケース記録に記載して情報共有に努める。また、シフトの引継ぎ時にも口頭で伝えて職員間で対応を統一する。統一出来ていない場合は、昼のミーティング等で周知し、統一されるまで何度でも行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18 : 00～20 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	8 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画	利用者様個々に出来る作業を把握する。意欲低下している利用者様には無理に作業を勧めない、ストレスになる為、職員が声かけを増やし会話の幅を広げるよう心掛ける。 利用者様と楽しく歌を唄ったり、体を動かす体操を無理せず行う。 「～したい」は、何が出来るか、できないか情報収集を担当職員が探っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員不足により、利用者様が個々に出来る作業が把握出来ず、グループ分けみたいな形で作業提供していた。ケース担当が「～したい」・何が出来るかの情報収集をしなければならなかったが、業務に追われてそこまで辿りつけなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	0	7	6	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	8	5	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	5	8	0	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	4	8	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様の ADL の状況に合った作業提供は出来ている、意欲のない利用者様については、無理せずに会話をしたりして、出来る限り関わりを持とうと努力している。 リハビリに意欲的な利用者様に付き添い、本人がもっとやる気が出るように声掛けをしている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員不足により、利用者様の「～したい」や目標に向けての情報収集や支援 (関わり) が出来ていない。 本人様が出来ることに関しても、業務の都合で職員が手伝ってしまうことがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ケース担当が責任を持って、「～したい」を探り出し、得た情報はケアマネに報告し、職員間でも情報を共有する。 業務の都合や時間に追われる中でも、可能な限り本人様にやって頂くよう心掛ける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18 : 00～20 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	11 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	日常生活の中で、お風呂だけでも体操だけでも施設にくる楽しみを持ってもらいたい。 認知症の方は一日何回でも同じ事を言うので、本人は気づいていないが、聞いている人は「また始まった」と不快な気持ちになる為、席を調整していく。 利用者様の気持ちに気づけるように、認知症に対してのスキルアップ研修を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	トラブルにならないよう席の配慮はしているが、なかなか上手くはいきませんでした。昼食後帰っていた利用者様に声をかけて、体操・レクに参加して頂いて、他の利用者様と交流を持ってもらいました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	2	10	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	10	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	7	5	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	9	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	10	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人様の体調・精神面の変化に気づいた時は、自宅での様子も含め、本人・家族に確認したり、訴えられない利用者様に関しては、状況を把握し、職員間で情報を共有して支援している。 食事形態・排泄・入浴など、利用者様の状態変化に応じて、臨機応変に対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員不足により、利用者本人に応じた個別の対応が出来ていない。 入浴拒否の利用者様に対しての対応が出来ていない。 認知症の進行によりレベル低下した利用者様の次の対応が遅れている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
業務の都合を見て、職員間で声掛けを行い、個別対応の支援ができるよう努力していく。 入浴拒否の利用者様についての勉強会を行い、対応策を考えて実施してみる。 認知症は日々進行していくので、小さな変化でも気づいた事は、業務日誌やケース記録に記載し、昼のミーティングで周知し、ケアマネに報告して次の対応に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18 : 00～20 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	8 人	2 人	2 人	13 人

前回の改善計画	広報以外にも連絡帳や送迎時などで、職員が家族とコミュニケーションをとり、ボランティアを呼びかける。 民生委員の活動内容や地域資源とはなにかを理解し、活用できるかを検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	一部の家族とは、連絡帳や送迎でコミュニケーションは取れているが、ボランティアの呼びかけまでは至らなかった。 民生委員の活動内容や地域資源など、理解または活用できるまではいかなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	7	5	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	10	1	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	5	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	7	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員が家族様とのコミュニケーションが取れており、人間関係が築けている。 独居の方で、地域資源の一部(生協)を利用して頂いている。また、施設に床屋が来て頂いて利用者様の理容をして頂いている。 施設での様子等は、連絡帳を通して伝えたり、変化等あれば、ケアマネが家族に連絡して対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員の活動や地域資源の理解・活用があまり出来ていない。 訪問の利用がある利用者様については、訪問時に今日は何していたの?と聞くことができるが、そうではない利用者様については、なかなか把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
運営推進会議時、民生委員の方に、活動内容や感想を聞いて職場懇談会に持ち帰り周知する。 地域資源についても、職場懇談会にて勉強会を行い活用できるよう努める。 自宅での様子については、施設利用時に入浴・茶話会等時間を作って、聞き出していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18:00~20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	利用者様の状態とご家族のニーズを把握し、職員間で話し合い、支援方法を関わり合いの少ない職員にも情報共有する。 送迎時間が遅れてしまう際は決まった時点で連絡をする。 地域資源の活用が少しでも出来るように、利用者様・家族様と面談し情報を収集する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の状態とニーズについては、主にケース担当が把握し、支援方法は、昼のミーティング・業務日誌・ケース記録・職員間で情報を共有し支援している。送迎については、あらかじめ分かっている場合は家人に連絡し了承している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	4	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	10	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10	1	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様・家族様の要望に応じ、急な利用変更にも柔軟に対応している。 利用者様の状態の変化は、ケース記録・業務日誌に記載し、昼のミーティングで職員に周知し、情報共有に努めている。 送迎が遅れる場合は、事前に連絡して利用者様・ご家族様の了承を得ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の活用が不十分だと思う。 利用者様本人のニーズに合わせた支援ではなく、ご家族様の要求に対しての支援になっている。 独居世帯が多く、以前よりもご家族様の要求が多くなってきており、職員不足の中で対応できる事が限られてきている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域資源についての勉強会の実施と活用。 家族様の介護負担軽減の為、要求は仕方ないところでもあるが、利用者本人様の希望をケース担当が、聞き出していく。 利用者様・ご家族様に対して、施設側として出来る事と出来ない事を明確にして伝える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18 : 00～20 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	3 人	2 人	7 人	13 人

前回の改善計画	感染対策を踏まえて、新たにボランティアをつのる。社協や知り合い、過去のボランティア様に連絡してみる。 外部で会議に参加してきた管理者やケアマネに毎月の職場懇談会で話してもらう。地域ケア会議など可能であれば担当職員も参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	ボランティア募集に関しては、対応することが出来なかった。地域ケア会議も職員不足で参加出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	2	2	7	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2	1	8	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	2	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	1	3	7	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 管理者・ケアマネについては、サービス機関との会議には積極的に参加している。 管理者が町内会に属していることもあり、地域とは顔なじみで、行事に参加しており関係性は構築出来ていると思う。 地域の子供神輿が施設に来所され、利用者様と交流が持てた。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 施設でコロナウイルスが出た為に、予定していた総合高校生の実習がグループホームに変更になり、施設でのオレンジカフェの開催も中止となった。 新規ボランティアの募集に対しても、対応することが出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 感染対策を再度見直し、実習生受け入れやオレンジカフェが開催できるように、職員全体が健康管理を徹底するよう周知する。 新規ボランティアについても、運営推進会議や自治会の総会に出席してお願いしてくる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18:00~20:00)
7. 運営	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	3 人	4 人	13 人

前回の改善計画	職員不足の中でも、地域との繋がり(地域行事への参加)が維持していけるように、勤務表を調整したり、町内会長を通じて協力して頂けるようお願いする。地域からの苦情や意見については、町内会長を通して意見を聞く。運営推進会議からも意見を聞いてみる。利用者様からの苦情や意見に関しては、ケアマネ・管理者が対応して、職員に周知する。運営方針については、管理者会議で議題としてあげ検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	町内会長・町内会のご協力もあり、子供神輿が施設まで来て頂き利用者様と交流がもてた。地域からの苦情・意見については、運営推進会議で、町内会長・民生員等に意見を聞いてみたが、特になかった。コロナ感染拡大で、利用を控えるよう利用者様・家族様にお願いしたら、入浴出来ないクレームが市にあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	4	6	3	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	4	3	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	4	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	3	5	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご家族様の苦情については、職員間で共有して謝罪し対応している。 ミーティング時に気づいたことは、その都度話し合っている。対応を統一した方がいいものについては業務日誌に記載し周知している。職員不足の為、パート職員には沢山協力して頂き円滑に業務が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議で地域からの苦情・意見はないかと聞いているが、特別な事案はなかった。 家族からの苦情で、結果的には家族の勘違いだったが、連絡が遅いので、その間職員はストレスを感じていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者様・家族様の苦情については、真摯に謝罪し対応する。利用者様や家族様の勘違いであったとしても、気遣いができるよう対応する。そのことによってストレスを感じている職員については、管理者・ケアマネ・職員同士でフォローできるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18 : 00～20 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	7 人	3 人	1 人	13 人

前回の改善計画	研修の年間計画を作成して周知し、職員のスキルアップを図る。また、仕事上の不安な点を職員同士で解決していく。 業務は出来るだけホールで行い、職員不足の軽減をはかる。業務内容の見直しと再確認を職員全体で行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修は年間計画に基づいて実施している。一日の業務の流れを職員に見てもらい修正した。 仕事上、不安な点が見られたら、業務日誌や昼のミーティングで報告して問題を共有して対応している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	3	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	6	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	4	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	5	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 虐待防止・ハラスメント・感染症等などの研修を定期開催して参加している。 ヒヤリハット・事故報告の検討会を数回行い、職員全員で改善策を検討して周知している。 介護福祉士取得の実務者研修も、半分は研修扱いとして支援している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 研修に参加したくても、シフト上の都合で参加することが出来なかった。 地域連絡会については、管理者とケアマネは参加出来ているが、その他の職員は参加出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 研修に参加したい職員については、勤務表を作成する時点で分かっている場合は参加出来るよう考慮する。 勤務表がすでに出来ている場合は、職員間でシフトを変更してもらう。 地域連絡会や研修についても、職員が参加出来る内容なら出来るだけ出席できるよう配慮する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 2 日 (18 : 00～20 : 00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	立山・長谷川・木戸・岡田・佐藤・大塚・伊藤・江部・海津・茂野・新澤・武士・鈴木

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	9 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	耳の聞こえが悪い方のトイレ誘導は、つい大声になってしまうので、メモ書きにして見せて対応する。接遇に対しての研修も行っているが、利用者様が不快にならないような対応をしていく。 個人情報の管理の意識付けを再度徹底する。 利用者様の対応で職員がストレスを感じる時は、職員が交代して対応する。 成年後見制度について勉強会を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	難聴の利用者様に対してのメモ対応は出来ていなかった。接遇に対してのスキルアップ研修は柏崎グループ全体で行っている。利用者様の対応でストレスを感じる場合は、遠慮せず職員同士で交代するよう周知しているが、頻度ではない。成年後見制度の勉強会を職場懇談会で実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3	0	0	13
②	虐待は行われていない	9	4	0	0	13
③	プライバシーが守られている	5	5	3	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	1	8	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人情報の管理・プライバシーの保護・守秘義務については守れている。 利用者様が不快にならないような言葉遣いは心掛けている。 身体拘束・虐待については、行われていないし、研修を実施している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度を活用する利用者様はいないが、成年後見制度を理解する為の研修会を行った。 トイレの頻回な利用者様について、「さっきも言ったよね」と言ってしまうことがある。 利用者の側で、他の利用者の様子等を職員間で話すことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
トイレが頻回な利用者様についても、トイレに近い席を配慮する。同じ職員だけが対応すると、ストレスが溜まるので、交代で対応する。利用者の近くで他の利用者の話をせず、カウンター側で話すようにするが名前を出さずにバイタル表に記載している名前を指して会話に繋げる。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 スワロー	代表者	戸田明宏	法人・ 事業所 の特徴	至れり尽くせり型のサービスではなく、利用者様の出来ること、したいことを、その人の生活やペースに合わせて、普段の暮らしに添えた【生活支援型のサービス】を合言葉にサービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能ホーム ももの木かしわざき	管理者	立山愛彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	人	1人	人	7人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	成年後見制度の研修会を実施する。 事故・ヒヤリハットについて再発防止の徹底に努める。	毎月の職場懇談会の中で、成年後見制度の研修会を実施した。 事故・ヒヤリについては、類似したケースが出て、改善策が活かされなかった。	①ご家族のニーズにより、利用者を受け入れているケースが多いが、認知症のある方から不満めいた発言を聞きますが、職員各位の良き対応で、結構なじんでおられる。 ②忙しい業務の中、利用者・家族の方の要望にも柔軟に対応されているのはすばらしいと思います。	職員不足の中でも、業務を円滑に廻していく為に、職員間の情報の共有やストレスを溜めない為に互いに声かけして協力し合える環境を作る。
B. 事業所の しつらえ・環境	施設の行事に、家族様や地域の方に参加して頂けるよう連絡帳・広報を通じて周知していく。 施設に入った時に季節を感じられる作品作りを利用者様と一緒に行う。	コロナ感染症の拡大に伴い、行事を中止する事があり、家族や地域の方が来所する機会がなかった。 毎月、利用者様と作成した季節に合った貼り絵や作品を玄関やホールに掲示しました。	①玄関から入るとすぐに、利用者様と職員が作った四季を感じさせる作品が飾られていた。 ②施設に施錠してない分、このご時世安全面が心配だ。	感染症対策を行いながら、施設の行事等に、家族様・地域の方に来所して頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	オレンジカフェの定期開催できるよう包括と連携して実施する。 引き続き、地域行事に参加して地域の声の聴いて業務に反映したい。	オレンジカフェについては、枇杷島コミセンにて開催。施設開催は、コロナ感染拡大にて中止になりました。 地域の子供神輿が施設に来所され交流が持てました。	①今年度は、オレンジカフェを包括も協働し開催出来た。地域との連携は出来ていて、ももの木の知名度は地域でも上がっていると感じている。 ②地域行事への参加、子供神輿の来所、総合高校生の実習予定など、地域の関わりが持っていて、とても良	①前回同様、オレンジカフェの定期開催の実施 ②自治会の行事に参加して、地域の方と交流を図る。

			いと思うので続けて頂ければと思います。	
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	利用者様が地域資源を活用できるようサポートしていく。 困難事例に関しても、施設だけで抱え込まず包括に相談して協力を仰ぎながら支援できるよう努力する。	近隣のスーパーに利用者様と一緒に買い物ができるよう付き添いをしました。 困難事例に対しても包括と連携して対応している。	①利用される利用者さんの背景が複雑な事例が多く、対応に苦慮されていると思います。施設内だけでは解決できないことは包括センターと協働で支援することができればと思っています。困りごとがあれば早めに相談して頂ければと思います。 ②地域の行事(納涼祭・避難訓練)等には、参加して交流を保っている。	①地域で心配な方がいらしたら、町内会長・民生員・包括と連携して対応していきたい。 ②利用者様と一緒に外出する機会を設ける。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	地域で心配な方について、町内会長・民生員様からあげてもらい。包括に協力仰ぎながら支援できる場合には施設利用に繋げていきたい。	地域の心配な方については、施設利用に繋げるケースはなかった。	①事業所の取り組みについては、分かりやすくまた、資料に活動内容報告の広報も添付されている。	運営推進会議の場で、地域と一緒に取り組める行事を検討する。
F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災訓練への参加・施設での防災訓練に地域の方に協力して頂けるよう、広報等を通じて周知していく。	地域の防災訓練には参加している。施設の防災訓練については、コロナの感染拡大防止の為、施設関係者で行った。	①防火センサーの誤作動で、火災発生の電話がきたが、原因は分かったのだろうか？ ②水害の時は、施設よりも先に町内の方が氾濫しているので、援助に行くことは難しいと思う。	①各災害に対しての防災マニュアルの見直しを行う。 ②引き続き、地域の防災訓練の参加・施設の防災訓練にも地域の方に協力して頂けるようお願いする。

